

入場
無料

小児がん啓発イベント



ゴールドリボン・みんなで知ろう！ 小児がんのこと2026

レモネードスタンド 240本限定 1本200円

レモネードペットボトル飲料を飲んで応援しよう。



1. ワークショップ 10:30~12:30 キワニスドール製作体験

真っ白な布製ドールに好きな絵をかいて
オンリーワンのドールを作ろう。



福井県立大学
Fukui Prefectural University

ゴールドリボンのキーホルダーづくり

小児がんの支援リボンは金色のリボン。水引やプラ板で
オリジナルキーホルダーを作ってみませんか？



2. 体験 13:00~16:00



CCA J

公益財団法人 がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

fukui kinderhospiz
ふくいこどもホスピス

マジックアーティスト桑島さんと手品をやってみよう



13:00~



クリニックラウンといっしょに遊ぼう！



14:00~



バルーンの花んちゃんとバルーンを作ろう



15:00~



献血 & 骨髄バンク登録会同時開催

2026年



9月26日(土) 10:00~16:30

ラブリーパートナーエルパ1階 吹き抜け広場

主催：CCSANF(小児がん支援団体ネットワーク福井)

後援：福井県

協力：ラブリーパートナーLpa・福井本丸ライオンズクラブ





ゴールドリボン

小児がんの理解と支援を呼び掛ける時に使われる世界共通のシンボルマークです。小児がんのカラーリボンはゴールドとされています。子どもたちは金のように貴重な宝物。小児がんと向き合っている子どもたちと必要な医療・ケアに光を当て、子どもたちの未来が光り輝くようにとの願いが込められています。



レモネードスタンド

レモネードスタンドはアレックス・スコットという少女が小児がんと闘いながら、レモネードスタンドを開設し、その売上を小児がん研究に寄付したことが始まりです。



キワニスドール

真っ白の人型の人形に綿を詰めた、優しい手触りの人形で、病院で手術や入院をする10歳以下のこどもたちに寄附されています。顔は描かれておらず、マジックなどを使って好きなキャラクターや家族の顔をこどもたち自身で描き、自分だけのドールを作ることができます。また、治療や手術の説明をこどもたちにする際にキワニスドールを用いて説明することで、こどもたちの恐怖心や不安を和らげるとされています。

講師紹介

桑島 康郎／マジックアーティスト（福井奇術同好会所属）



小学4年の時、長期入院中にマジックに出会う。独学で約150のレパトリーを持つ。大学卒業後、大学院でマジックセラピーを研究。最近では骨髄移植を行い、教員として働きながら、マジックを多くの方に届けている。

クリニクラウン／認定NPO法人クリニクラウン協会



クリニクラウンは、病院（クリニック）を訪問する道化師（クラウン）のこと。入院生活を送るこどもの病室を定期的に訪問し、遊びや関わり（コミュニケーション）を通して、こどもたちの成長をサポートしています。クリニクラウンは、優れた表現者であると同時に、こどもの接し方、こどもの心理、保健衛生や病院の規則にも精通したスペシャリストです。こどもの成長や発達をサポートするという視点を持ち、病棟スタッフと協働し、こどもの療養環境の向上を目指し活動しています。

バルーン工房 バルーンのぶんちゃん／バルーンアーティスト



本名・東 文一（あずま ふみかず）1966年金沢市生まれ。加賀市医療センター（石川県加賀市）で医療機器の操作や点検にあたる臨床工学技士として勤務の傍ら、バルーンアーティストとして活動。地域や病院でのイベント等に出演している。

団体紹介

NPO法人ふくいこどもホスピス



「きょうも一日楽しかったね。」をモットーに、病気と闘う子どもとご家族が笑顔で過ごす毎日と一緒につくっていきけるよう活動し、将来はこどもホスピス施設の建設を目標としています。

ホスピタル・トイふくい



小児がんによる入院、治療の必要な子や家族の環境が良くなるようにと作られた会です。年齢に合ったおもちゃの提供、おもちゃで子どもと一緒に遊ぶ専門家（HPS）の養成の支援、小児がん啓発のためのレモネードスタンドなどの活動しています。



福井県立大学
Fukui Prefectural University

小児がんの啓発のためにお手伝いをしています。看護福祉学部の教員＆学生です。



CCA

公益財団法人 がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

小児がん患者とその家族が直面している困難、悩みを少しでも軽減すべく、東京にある本部と連携し、国や県にも働きかけを行っています。小児がんの正しい知識と患者家族の気持ちを理解していただくための啓発も行っています。